

科目区分	専門分野			科目番号	1408	曜日時間	
授業科目	老年看護学実習Ⅲ						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	岡原 幸代 ・ 横手理香						
授業目的	緩和ケアが必要な患者及び家族への看護実践ができる基礎的能力を身につける。						
中核	苦痛へのアプローチとQOLの向上						
授業目標	1. 患者の痛みへの症状マネジメントの基本が分かる。 2. 患者の痛み以外の症状マネジメントの基本が分かる。 3. 緩和ケアにおける患者と家族ケアの基本が分かる。 4. 緩和ケアにおけるチームアプローチが分かる。 5. 共感的態度や倫理に基づいた行動をとることができる。						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	12日間	病棟の一日の流れと病棟の特徴を知る 緩和ケアをうける対象の日常生活が分かる 対象を全人的に理解する 対象と家族をありのままに受け止める 対象と家族の強みを知る 対象と家族に必要なケアを知る 対象と家族へ看護ケアを実践できる 臨死期の看護の役割が理解できる グリーフケアの必要性を知る 対象を支える職種の種類や役割について理解する 療養の場の広がりを理解する 多職種との連携の必要性を理解する カンファレンスを通して実習メンバーの受け持ち患者の看護内容について情報交換し理解を深める	臨地実習	90	各担当教員	実践活動の病院8時間の実習2時間	
終了後課題	①紙ファイル ②学びのレポート「緩和ケア実習を通して学んだこと、考えたこと」						
評価計画方法	臨地実習の援助内容・態度を評価表で評価						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	岡原：看護師・保健師：地域包括支援等勤務 6年 看護教員：学校勤務 6年 横手：看護師・保健師：地域包括支援等勤務 6年 看護教員：学校勤務 3年						
講義への反映	病院勤務の経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考	学内実習（実践活動の場以外の実習）の詳細に関しては実習要項に記載あり						